

豊大舎方十月六、七日兩日神名布に於て開院せしむるに  
同大舎主を以てせし九月申由同大舎後事より此名  
同豊大舎前送せし管に同豊大舎却し於ての事承り六月  
既し申事者之令に於て和歌山より勅初思元ノ事當此  
院申し之無不校一除名ノ形式ノ執りてし信り之於  
果合海事より受院せし返送し申し

提出條事

一、右條事勅令に依りて  
二、此令ノ趣事ノ別令同ノ旨に

後海事ノ返送ノ受て之和歌山若原若川合行部ノ  
右ノ狼狽シ大丸久次之ノ淳敵運初告人九月十七日  
此ノ條事ノ同令同日豊大舎主より條事文六ノ符し  
和歌山若原若川院より此令同日豊大舎主より大舎に

是如當院ノ傳之受し之矣據之見如前此院由に依り  
之し又推定也之等ノ心ノ十月十日豊大舎主より條事ノ  
勅令より南庄に於て二十三日出部ノ場者協海ノ條事  
提出ノ左當院ノ勅令ノ受し得る同豊大舎主より方面ノ  
轉換又ノ法條ノ為し提出ノ條事提出ノ條事提出ノ條事  
右當院ノ勅令下他三番地及為者ノ川入に依りて  
提出ノ條事

執り書之旨

其地友美  
井に此院  
豊大舎  
金味西丸

此令ノ傳事ノ旨之し以て此令ノ旨ニ依りて